

障害のある人がその人らしく暮らせる社会の構築

障害のある人のライフステージに沿った福祉サービスが提供され、障害のある人が地域社会の中で人々と共生し、その人らしく暮らせる環境を整備します。

2 精神障害のある人の地域生活への移行の推進

※総合計画＋α

精神障害のある人の地域生活への移行には、医療機関による退院支援や、地域の福祉関係機関による地域生活支援の両面が必要であることから、関係機関が連携して対応する地域ネットワークの構築を推進します。また、より身近な地域で、医療と福祉の連携体制の強化を図り、精神科医療機関と障害福祉サービス事業所等と連携した退院促進や地域定着の推進を図ります。

自立した生活の維持や社会参加などを支援するピアサポート体制の在り方について検討を進めます。

(1) 精神障害のある人の地域生活への移行支援

【Ⅰ 現状・課題】

【Ⅱ 取組みの方向性】

- ①
- ②
- ③

【Ⅲ 数値目標】

No.	項 目	25年度 実績	27年度	28年度	29年度
1	精神科病院に入院した患者の入院後3か月経過時点の退院率の上昇	調査中			
2	精神科病院に入院した患者の入院後1年時点の退院率の上昇	調査中			
3	精神科病院の長期在院者(1年以上在院者)の削減数	調査中			
4	統合失調症の入院患者数	調査中			

5	入院中の精神障害者のうち、1年未満入院患者の平均退院率	調査中			
---	-----------------------------	-----	--	--	--

6	入院中の精神障害者のうち、高齢長期退院者数	調査中			
---	-----------------------	-----	--	--	--

7	地域生活支援広域調整会議等の事業評価委員会の開催見込み数、協議会の開催見込み数	—			
---	---	---	--	--	--

8	地域移行・地域生活支援事業の実アウトリーチチーム設置見込み数	—			
---	--------------------------------	---	--	--	--

(2) 障害のある人自身が自らの経験を基に相談支援等を行うピアサポートの推進

【Ⅰ 現状・課題】

【Ⅱ 取組みの方向性】

①

②

③

【Ⅲ 数値目標】

No.	項 目	25年度 実績	27年度	28年度	29年度
1	地域移行・地域生活支援事業の実ピアサポーター見込者数	—			

(3) 精神科救急医療体制の充実

【Ⅰ 現状・課題】

【Ⅱ 取組みの方向性】

①

②

③

【Ⅲ 数値目標】

No.	項 目	25年度 実績	27年度	28年度	29年度
1	精神科救急基幹病院数	9			
2	精神科救急身体合併に 対応できる施設数	4			

7 障害のある人一人ひとりに着目した支援の充実

発達障害、高次脳機能障害、強度行動障害など、地域の支援施設・機関では通常の対応が難しい障害について、県内に拠点を設置して支援の拡充を図るとともに、より地域に密着した支援ができるよう、民間での専門的・広域的な支援拠点機関の普及促進や、そのための人材育成などの具体的な仕組みづくりを進めます。

ひきこもり本人や家族に対しては、相談支援等により、ひきこもり本人の自立を推進し、本人及び家族等の福祉の増進を図ります。

**地域の支援施設等のみでは支援が困難な障害に対する支援の推進
(うち高次脳機能障害関係)**

【Ⅰ 現状・課題】

【Ⅱ 取組みの方向性】

①

②

③

【Ⅲ 数値目標】

No.	項 目	25年度 実績	27年度	28年度	29年度
1	高次脳機能障害支援普及事業の実施見込箇所数	3			

2	相談件数	9,483			
---	------	-------	--	--	--

3	実利用者見込み者数	—			
---	-----------	---	--	--	--

ひきこもりに対するアウトリーチ型支援の推進

【Ⅰ 現状・課題】

【Ⅱ 取組みの方向性】

①

②

③

【Ⅲ 数値目標】

No.	項 目	25年度 実績	27年度	28年度	29年度
1	地域移行・地域生活支援事業の実アウトリーチチーム設置見込み数 再掲	—			

2	ひきこもり地域支援センターの相談件数	483			
---	--------------------	-----	--	--	--

その他

災害派遣精神医療チームの体制整備

【Ⅰ 現状・課題】

【Ⅱ 取組みの方向性】

- ①
- ②
- ③

【Ⅲ 数値目標】

No.	項 目	25年度 実績	27年度	28年度	29年度
1	運営委員会の開催見込み数	—			